

THUNDERBIRD® Probe qPCR Mix

作成：2009年1月5日

改訂：2012年10月1日

整理番号 00345A



安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	THUNDERBIRD® Probe qPCR Mix
製品コード	QPS-101, QPS-101T
供給者の会社名称	東洋紡株式会社
住所	大阪市北区堂島浜二丁目2番8号
担当部門	ライフサイエンス事業部
電話番号	06-6348-3786
FAX番号	06-6348-3833
推奨用途および使用上の制限	Realtime PCRによるDNAの定量（研究用試薬）

2. 危険有害性の要約

重要危険有害性	
有害性	有害性に関する調査が不十分なので、取り扱いには注意する。
GHS分類	分類できない

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物	
化学特性	酵素、基質等の水溶液	
パーツ名	主要成分	CAS No. (EC No.)
<THUNDERBIRD™ Probe qPCR Mix>	トリス（ヒドロキシメチル）アミノメタン	77-86-1
	デオキシアデノシン三リン酸	1927-31-7
	デオキシシチジン三リン酸	102783-51-7
	デオキシグアノシン三リン酸	93919-41-6
	デオキシチミジン三リン酸	18423-43-3
	添加剤	非公開
	DNAポリメラーゼ	(EC 2.7.7.7)
	タンパク質(マウスモノクローナル抗体)	-
<50x ROX Reference Dye>	ROXリファレンス色素	-
危険有害成分		
化学名又は一般名	添加剤	
別名	非公開	
含まれるパーツと含有量	THUNDERBIRD Probe qPCR Mix: <15%	
化学特性（化学式）	非公開	
CAS番号	非公開	
官報公示整理番号 化審法：	登録済み	
安衛法：	公表	
化学物質管理促進法	該当しない	
指定化学物質(政令番号)		
労働安全衛生法	該当しない	
通知対象物（政令番号）		
毒物劇物取締法	該当しない	
毒物・劇物（政令番号）		



安全データシート

4. 応急措置

吸入した場合

直ちに新鮮な空気のある場所に移し、気分が悪くなった場合は医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

多量の水で十分洗い流す。

目に入った場合

目に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受ける。

飲み込んだ場合

可能であれば吐き出させ、直ちに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消火剤

水、二酸化炭素、泡消火剤、粉末消火剤

消火を行う者の保護

消火は風上から行う。

大規模な火災の場合は呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

作業を行う際は保護具を着用し、眼・皮膚への接触や吸入を避けるように注意する。

環境に対する注意事項

濃厚な廃液が河川に直接流れないように注意する。

除去方法

可能な限り、減圧で吸引したり、ウェスなどに吸収させて密閉式の空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

人体への接触に対して十分に配慮する。

注意事項

目、皮膚、衣服への接触を避け、取扱い後は充分洗浄する。

安全取扱い注意事項

取扱い場所を常に整理整頓し、清潔に保つ。

保管

適切な保管条件

密閉容器にて-20℃で保管

安全な容器包装材料

本製品に使用されている容器内で保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度

日本産業衛生学会勧告値

ACGIH TLV

OSHA PEL

添加剤

設定されていない

設定されていない

設定されていない

保護具

呼吸器の保護具

必要に応じてマスクを着用する。

手の保護具

ゴム手袋を着用する。

目の保護具

保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具

必要に応じて実験用の被服等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态、形状

常温で液体、-20℃では固体。

色、臭い

無色透明、ほとんど無臭

pH

7.0~9.0

引火点

水溶液のため引火性はないと考えられるが、THUNDERBIRD™ Probe qPCR Mixは水分蒸発後131℃の引火点を持つ添加剤が残留する。

爆発特性

常温では爆発性はない。

密度

1.0~1.2

溶解性

水に可溶



安全データシート

1 0. 安定性及び反応性

安定性	-20℃で安定
反応性	通常の条件下では安定である。
避けるべき条件	高温、直射日光、火災などによる強熱、強酸化剤、還元剤
危険有害な分解生成物	知見なし

1 1. 有害性情報

急性毒性	データなし
生殖毒性	データなし
局所効果	目や皮膚の粘膜を刺激し、結膜炎などの炎症を起こす可能性がある。
各成分の有害性情報	添加剤
急性毒性 (LD50)	マウス経口： 4773mg/kg
発癌性	
日本産業衛生学会勧告値	記載なし
ACGIH TLV	記載なし
OSHA PEL	記載なし

1 2. 環境影響情報

移動性	水溶性あり、水系に拡散する。
残留性・分解性	データなし。成分中の1,3-プロパンジオールは生分解性あると考えられる。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	少量であればペーパータオルやウエスに吸収させて焼却処分する。その施設・地域の廃棄規則に準じて、廃棄物処理専門業者に処理を依頼する。
汚染容器・包装	その施設・地域の廃棄規則に準じて廃棄する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制	国連勧告の定義上の危険物に該当しない。
国内規則	輸送に関する法規制には該当しない。
輸送の特定の安全対策及び条件	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

1 5. 適用法令

輸送に関する法規制は、14. 輸送上の注意の項参照。
製品として法規制に該当しないが、含有する添加剤は、危険物第4類引火性液体第3石油類水溶性液体に該当する。

1 6. その他の情報

参考文献	「労働安全衛生法対象物質全データ」化学工業日報社（2000年） 「化学物質管理促進法対象物質全データ」化学工業日報社（2000年） ACGIH (7th, 2001)
制約事項	独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合 検索システム 記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の手配を対象としたものですので、特別の手配をする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供を主目的とするものであって、保証するものではありません。